

パイロット養成コースのある5大学による合同学校説明会レポート 高校生パイロット志願者100名が集結

パイロットを養成する5大学(桜美林大学・崇城大学・法政大学・千葉科学大学・帝京大学)が集まり、合同説明会を、福岡(6/7)・大阪(6/21)・東京(6/28)で開催した。

合同説明会は今年で3年目となり、昨年までは桜美林大学・崇城大学・法政大学の3大学で開催していたが、今回から千葉科学大学と帝京大学が加わった。パイロット不足が叫ばれる中、「大学でパイロットを養成している」ことが年々認知されてきていることと、5大学それぞれの特徴を一度に聞けることから、どの会場も昨年を上回る参加があり、特に大阪と東京は昨年の2倍以上(大阪:44組 84名、東京100組 191名)の参加があった。

説明会では各大学がそれぞれ15分のプレゼンを行なった後、個別説明会を実施。各大学とも工夫を凝らした内容で訓練の特徴や就職支援、学費や入試および奨学金制度などについて説明を行なった。またエアラインに就職し、パイロットとして乗務している各大学の卒業生も応援に駆けつけ、パイロットを目指す高校生と直接話す場を設けていた。

参加者の反応も非常に良く、個別説明会では複数の大学を訪れ大学側の説明に耳を傾け、積極的に質問をする熱心な高校生と保護者の姿が多く見られた。参加者からは「各大学の特徴を一度に知ることが出来良い機会」や「パイロットとして乗務している方々と直接話すことができ目標がさらに定まり今後の励みになった」などの声が寄せられた。

